

花祭りとは？

「テホヘ テホヘ」と、夜を徹して繰り広げられる花祭は、鎌倉時代末期から室町時代にかけて、熊野の山伏や加賀白山の聖によってこの地に伝えられたといわれています。「冬至」の前後、太陽の力の復活を願って行われる「霜月神楽」の一種とされるこの祭りは、天竜川水系に今も伝わる神事芸能で700年以上にわたって継承されています。

当初は湯立てと清め中心の祭りだったと考えられますが、伊勢神楽や諏訪神楽なども取り入れながら、土地の人たちによって育まれ、約400年ほど前に現在に近い形態になったようです。

そのころは大神楽といって、七日七夜もかけて130番もの舞が盛大に行われ大規模なため莫大な資金と労力が必要で、金100両、白米100俵が備蓄され、更に不足に備えて神楽林も保有していました。数地区が一緒になって、7年目や20年目という間隔で行われていましたが、大行事のため七日七夜にわたる大神楽を省略・集大成し一日一夜の祭りとして完成されたのが現在の花祭であるといわれています。大神楽がなぜ花祭になったのかは多くの人が持つ疑問であり、「花」の語源についても10前後の説があります。

祭りは花宿の清めから始まり、神迎え、湯立て、宮人の舞、青年の舞、稚児の舞、鬼の舞、禰宜や巫女・翁などの神々の祝福、少年の舞、湯で清める湯ばやし、神返しまで休む事なく、ほぼ一昼夜をかけておこなわれます。

八百万の神々を勧請し、諸願成就、厄難除け、生まれ清まりを祈願するこの祭りは、昭和51年に国の重要無形民俗文化財に指定され、毎年11月から3月上旬にかけて、郡内15カ所の地区で盛大に開催されます。



花祭りで、あなたは神秘を体験する

花祭り開催予定表		
町村名	地区名等	開催場所・日程
東栄町	① 小林 ことばやし	小林諏訪神社境内 11月の第2土曜日
	② 御園 みその	御園集会所 11月の第2土曜日～翌日曜日
	③ 東菌目 ひがしそのめ	老人憩いの家 東菌目荘 11月の第3日曜日
	④ 月 つき	月集会所 11月22日・23日(祝)
	⑤ 足込 あしこめ	足込集会所 11月の第4土曜日～翌日曜日
豊根村	⑫ 坂宇場 さかうば	八幡神社舞庭 11月の第4土曜日～翌日曜日
東栄町	⑥ 河内 こうち	河内長峰神社境内 11月の最終土曜日～翌日曜日
	⑦ 中設楽 なかしたら	中設楽花祭舞庭(中設楽改善センター前) 12月の第1土曜日～翌日曜日
	⑧ 中在家 なかざいけ	老人憩いの家 明寿荘 12月の第2日曜日
設楽町	⑮ 津具 つぐ	白鳥神社 1月2日・3日
東栄町	⑨ 古戸 ふつと	古戸集会所 1月2日・3日
豊根村	⑬ 下黒川 しもくろかわ	ほのぼの会館 1月2日・3日
	⑭ 上黒川 かみくろかわ	熊野神社舞庭 1月3日・4日
東栄町	⑩ 下粟代 しもあわしろ	下粟代生活改善センター 「成人の日」前の土曜日～翌日曜日
	⑪ 布川 ふかわ	布川集会所 3月の第1土曜日～翌日曜日
豊根村	間黒 まくろ	休止中
	山内 やまうち	休止中

※祭りの日程、時間は変更になる場合がありますので事前にお問い合わせください。

花祭りを詳しく知りたいなら **東栄町 16 花祭会館**

鬼面、衣装のほか花祭りに関する道具が展示されています。

- 午前9時～午後4時
- 月曜日休館日 ●大人300円

お問合せ 東栄町教育委員会
☎0536-76-1266

